

子ども伝道弟子の最高の祈り



きょうのみことば

使徒 5:42

そして、毎日、宮や家々で教え、イエスがキリストであることを宣べ伝え続けた。

Handwriting practice lines consisting of a series of horizontal dashed lines.

どうすれば、一番よく伝道することができますか。伝道する前に、私^{わたし}がまず福音を味わうことが、正しいはじまりです。がんばって遠いところに行くよりも、私^{わたし}がいる現場^{げんば}で毎日、静かに伝えることがすばらしい伝道です。一人だけではなく、チームになって、伝道^{でんどう}を続けることが、子ども伝道弟子の目標^{もくひょう}です。

1. 伝道は神様がなさること

伝道^{でんどう}は、神様の恵み^{めぐみ}でなされます。すべてのできごとと出会いには備えられた神様の答え^{こたえ}があります。わざわざ伝道しにでかけなくても、現場^{げんば}に行けば、伝道の門^{かど}がパツと開いています。伝道は私^{わたし}がするのではなく、神様がなさる働き^{はたら}きです。

2. 人生の中で自然になるようになる伝道

カバン中に週報^{しゅうほう}と伝道トラクト^{でんどう}を入れて通いながら、友だちにプレゼントでわたしてみてください。伝道対象者^{でんどうたいしょうしや}として長い間祈^{いの}ってきた友だちがいるならば<子どもの祈りの手帳>とともに私^{わたし}がどのようにイエス様に会うようになったのか手紙^{てがみ}で書いてわたしてみてください。遠くに出発^{とんぱつ}して行ってする伝道よりも、生活の中で自然になるようになる伝道^{でんどう}が本物の伝道です。

3. 伝道者として呼ばれたレムナント

伝道者^{でんどうしや}は福音^{しあわ}で幸せな人です。この幸せなことは、家庭^{かてい}と学校にまで影響^{えいきやう}があります。レムナントは伝道者として呼ばれました。福音^{しあわ}で豊かに幸せになって、重要^{じゅうよう}で急^{いそ}ぐ所に福音の影響^{えいきやう}をおよぼすようにしましょう。

福音^{あひ}を愛して、一つの心で、すべての心で、続けて福音^{しあわ}を自慢^{じまん}する伝道弟子^{でんどうでし}にならせてください。毎日、神様があたえてくださった答え^{かんじや}を感謝^{かんじや}して、なっていくしかない伝道^{でんどう}の祝福^{しゅくふく}を味わわせてください。イエス・キリストのお名前^{いの}によってお祈り^{いの}します。アーメン

◎ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう

大好きな友だちへ

レハブアムとヤロブアムは、いつもけんかをしていました。レムナントのみなさんレハブアムとヤロブアムに福音^{ふくいん}的な忠告^{ちゆうこく}をしてあげてください。



火曜日

24

きょうのみことば

使徒 2:46~47

そして毎日、心を一つにして宮に集まり、家でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、神を賛美し、すべての民に好意を持たれた。主も毎日救われる人々を仲間に加えてくださった。

わたしの家は

私の家は みことばが成就する現場

マサトの周りにはたくさんの友だちがいます。マサトがおもしろくて、友だちをよく助けてあげるからです。ある日から、マサトを中心に、教会学校の友だちが携帯電話の待ち受け画面に、礼拝のタイトルを出すようになりはじめました。そして、友だちの家に遊びに行くと、かならず「子どもの祈りの手帳」を持って行って、フォーラムをします。このすべてが、マサトの家で集まるミッションホームでみことばを受けて、おたがいにフォーラムをして起きていることです。

1. 神様のみことばをなしとげることを進んでみましょう

神様が私の現場で約束のみことばを宣言された瞬間から、祝福は始まります。しかし、重要なのは、神様のみことばを記憶して一つずつ実践することです。みことばを忘れないように、マサトと友だちのようにしてみましょう。これが、まさに神様のみことばをなしとげることを進んですることです。

2. 神様のみことばに従って導かれましょう

道に迷った時、地図を見ればすぐ道が見つかります。日曜に宣言されるみことばは、まさに私たちの人生の地図(道しるべ)です。神様のみことばに従って導かれれば、どんな困難も、悲しみにも勝てます。

3. 世界福音化のすてきな主人公になりましょう

神様のみことばをひとつひとつ実践するのは、福音を持った神様の子どもの開始です。みことばの道しるべについて行くのが一生歩いて行かなければならない道です。また、私たちの目標は世界福音化です。神様はこのことにレムナントを主人公として呼ばれました。

礼拝のときに受けたみことばをひとつひとつ実践するように力をあたえてくださってありがとうございます。いつも神様のみことばに従って導かれ、世界福音化のすてきな主人公として用いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼 12時 教会のために祈りましょう。夜 9時 RUTCのために祈りましょう



神様のみことばをにぎりましょう

水曜日

25

きょうのみことば

1 ペテロ 1:2

父なる神の予知に従い、御霊の聖めによって、イエス・キリストに従うように、またその血の注ぎかけを受けるように選ばれた人々へ。どうか、恵みと平安が、あなたがたの上にありますように。

聖書はずっと昔に書かれた本です。しかし、読めば読むほどおもしろく、新しい事実をひとつひとつ発見することができます。なぜでしょうか。今も成就する神様のみことばだからです。

1. みことばの核をにぎりましょう

神様のみことばである聖書の核は何でしょうか。すべての問題の解決者であるイエス・キリストがサタンの権威を破って、私たちを救われたという約束です。律法や神秘や偶像では神様に会うことができません。初代教会は「ただ福音だけが解答」というみことばをにぎって勝利しました。

2. 今日のみことばをにぎりましょう

私にくださった「今日のみことば」を黙想してみましょう。私がかならずしなければならぬ「今日の祈り」をしてみましょう。出会うすべての友だちに「今日の伝道」をしてみましょう。そうすれば、毎日、解答が出てきます。かならずなる未来の祝福が今日、私のものになります。

3. 未来を見通しましょう

人々は自分のはっきりしない未来について不安に思っています。それで占って偶像の前にお辞儀をします。しかし、レムナントは、占う必要も、偶像の前にお辞儀をする必要もないのです。なぜでしょうか。神様がレムナントの未来の責任をもってくださっているからです。それだけではなく、私にぴったり合うタラントをくださって、そのタラントを通して、どこのだれもついてくることのできない唯一性の祝福をくださいます。

愛の神様、みことばの核であるイエス・キリストが、私のすべての問題を解決してください。私にくださったことを信じます。聖霊とともにいてくださって、いつも導いてくださり、私の未来を完ぺきに責任をもってくださることを感謝します。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう

キリストの割礼を受けた契約の民

シンバイくん：「割礼？ いったいそれはなんのこと？」

イカゲンくん：「ハハハ。知らないの？ 包皮手術のことだよ」

割礼は、包皮手術とはちがいます。包皮は、包皮が陰茎の前部を覆っていることを言います。幼い時は、包皮(陰茎を覆っている皮膚)が陰茎についていて、おとなになりながら、とれていくようになります。おとなになっても離れていなかったり、病気になる場合に、包皮を切りとったりします。これを包皮手術と言います。しかし、割礼は神様の契約の民というしるしで、陰茎の包皮の先を切ることです。神様がくださった契約と、自分自身がその契約の祝福を味わう民だという事実を、一生、覚えるように刻んだしるしだったので。

それでは、今でも割礼をすべきでしょうか。キリストが来られた後には羊を殺して、いけにえをささげる必要がなくなったように、からだにする割礼は必要がなくなりました。しかし、手でからだにする割礼の代わりにキリストの割礼を受けなければなりません。

キリストの割礼とは何でしょうか。イエス様をキリストとして信じて受け入れたのですか。それなら、たましいにすでにキリストの割礼がされました。永遠に消えない契約の民のしるしが聖霊によってたましいに刻まれたのです。神様に一度、告白してみましょうか。

「私は、キリストの割礼を受けた契約の民です！」

神の子どもにしてくださいありがとうございます。愛しています！」

木曜日

26

きょうのみことば

使徒 1:1~8

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。(8)

福音的な祈りをしましょう

神様は「こんどのテストで、100点がとれますように」という祈りより、「神様、私が福音のためにがんばって勉強できるように知恵をください」と祈るように願われます。

1. まことの祈り

神様が聞かれるとき、本当に苦しい祈りがあります。ところで、反対に喜びがあふれるまことの祈りがあります。それは、イエス様が教えてくださったように「神の国とその義とをまず第一に求めなさい」と言われたように求める、福音的な祈りを神様が本当に喜んでくださいます。

2. 答えられる祈り

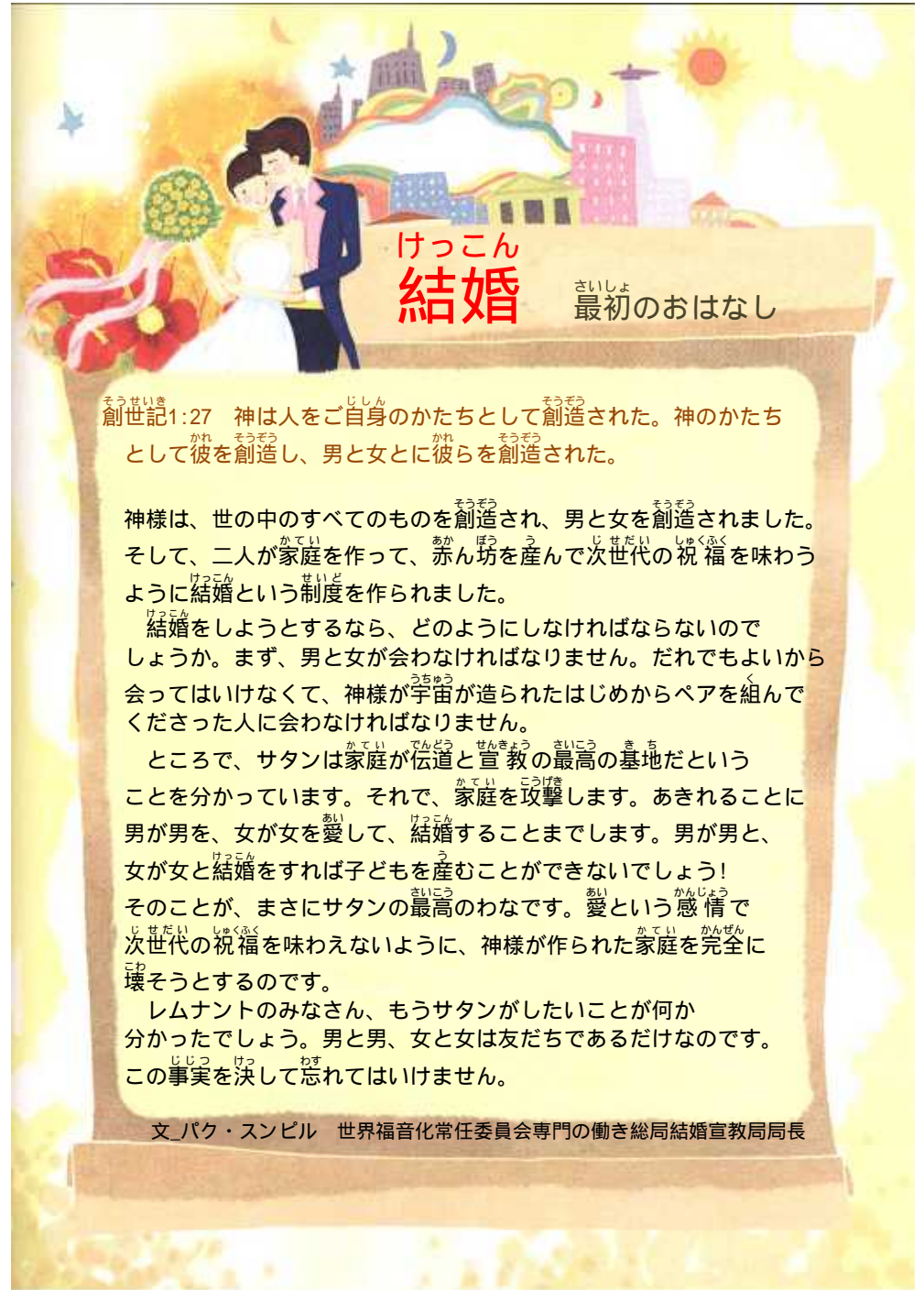
神様はみことばを通して答えられます。それで、礼拝時間に講壇のみことばをよく聞かなければなりません。<子どもの祈りの手帳>を通してくださるみことばを黙想しなければなりません。みことばを聞いて、黙想してみるならば、神様が私の心と考えを通して答えられることを体験するようになります。

3. まことの力を得る祈り

レムナントが福音的な祈りを通して答えをずっと受ければ、霊的な力が生じます。だれも手助けしなくても、聖霊に満たされた生活を生きることができます。かたく閉じている伝道の門もパッと開かれます。現場が変化する伝道者の霊的なリズムを味わうようになります。

神様、神様が願っておられるまことの祈りをする事ができるように助けてください。福音的な祈りを通して私の心と思いを守ってください。いつも私にまことの答えと霊的な力をくださるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼 12時 教会のために祈りましょう。夜 9時 RUTCのために祈りましょう



けっこん 結婚

さいしょ 最初のおはなし

創世記1:27 神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして彼を創造し、男と女とに彼らを創造された。

神様は、世の中のすべてのものを創造され、男と女を創造されました。そして、二人が家庭を作って、赤ん坊を産んで次世代の祝福を味わうように結婚という制度を作られました。

結婚をしようとするなら、どのようにしなければならないのでしょうか。まず、男と女が会わなければなりません。だれでもよいから会ってはいけなくて、神様が宇宙が造られたはじめからペアを組んでくださった人に会わなければなりません。

ところで、サタンは家庭が伝道と宣教の最高の基地だということを知っています。それで、家庭を攻撃します。あきれることに男が男を、女が女を愛して、結婚することまでします。男が男と、女が女と結婚をすれば子どもを産むことができないでしょう！そのことが、まさにサタンの最高のわなです。愛という感情で次世代の祝福を味わえないように、神様が作られた家庭を完全に壊そうとするのです。

レムナントのみなさん、もうサタンがしたいことが何か分かったでしょう。男と男、女と女は友だちであるだけなのです。この事実を決して忘れてはいけません。

文 パク・スンビル 世界福音化常任委員会専門の働き総局結婚宣教局局長

金曜日

27

きょうのみことば

使徒 5:17~32

そこで、大祭司とその仲間たち全部、すなわちサドカイ派の者はみな、ねたみに燃えて立ち上がり、使徒たちを捕え、留置場に入れた。(17-18)

はくがい しゆくふく か 迫害も祝福に変える福音

大祭司たちと多くのユダヤ人が言いました。「この悪いやつめ。あれほど警告していたのに、イエスを伝え続けるとは！おまえらは、まだ、痛い目にあっていないんだな。おい、あいつらをむちで打て！」イエス様の弟子たちと初代教会の信徒は、福音を伝えるという理由でとても迫害されました。

1. 福音のために受ける迫害は終わりではありません

教会の歴史を見れば、時代ごとに伝道者たちは、大きな迫害を受けました。しかし、伝道者は、迫害がおそろしいからと伝道をあきらめませんでした。かえって、さらに福音を伝えました。彼らは迫害を受けたあとに、もっと大きい伝道の門が開かれるという興義を知っていました。

2. 福音を伝えるとき、迫害されることもあります

学校でイエス様を伝えてみたことはありますか。福音を伝えたら、友だちが何と言いますか。もしかしたら、からかったり、あれこれ問い詰められたりしませんか。福音を伝えてみたら、いろいろな事を体験します。神様はその全てのものをすでにみんな知っておられます。神様はすでに出る道を開いておかれて、越えられる力も備えておられました。

3. 福音を味わえば迫害もおそろしくありません

神様の愛を悟れば感謝と喜びがあふれます。それで、だれが困らせておそろしくありません。むしろ迫害を感謝をもって受けることができます。福音を知らずに迫害した友だちのために祈ってみてください。神様は驚くべき答えを備えておられました。

私を救ってくださり、神の子どもにしてくださって感謝します。福音を毎日味わって、どんな迫害もおそれないで福音を大胆に伝えるかっこいいレムナントにならせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

※定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう

イザヤ 33:22

まことに、主は私たちをさばく方、主は私たちの立法者、主は私たちの王、この方が私たちを救われる。

アドナイ・メレク



アドナイ・メレクとは、神様が王だという意味です。イスラエルの人々は、主をメレク、すなわち王だと信じました。単純に、イスラエルの王ではなく、地球のすべての民族を治める王だと信じました。エルサレムの神殿、神様の天の御座の象徴だと理解して、来られるメシヤは、その民を敵から救って、全世界を治める王権を立てられるだろうと期待しました。それは、新約時代になってイエス様を通して成就されたのですが、イエス様は、真の従順を通して、この世に真の王国、すなわち、神の国を完成されました。全世界は、今、霊の問題によって困難にあります。サタンに捕われて、苦しんでいます。それで、イエス・キリストが真の王としてこの世に来られました。キリストの福音が入るだけで、サタンの勢力は崩れて、神の国が立てられます。

ですから、福音を伝えるレムナントの一步ごとが重要です。レムナントは、世界を生かす光であり、塩なのです。

今日一日、王であるイエス様を大胆に、謙虚に友だちに伝えてみましょう。



24日(土)

Yes, Jesus loves me!

「ヨシキは～、ヨシキは～、アルファベットも～知らないね」
子どもたちが、ヨシキのまわりをぐるっと囲んでからかいはじめた。
ヨシキはの顔がまっかになった。子どもたちはヨシキの反応が
おもしろくて、もっと大きい声で歌った。

「ヨシキは～、ヨシキは～、アルファベットも～知らないね」
「ちがうよ！ちがう！」

ヨシキは、ぱっと立ちあがって、子どもたちをおしのけて走り出した。

教室のドアを出て、校門を過ぎ、家の前まで走った。

「ヨシキ、そこでなにをしているの。学校は？」

ちょうど家から出てきたお母さんが、とてもおどろいてたずねた。

「どうしたの。なにかあったの？」

「友だちが、ぼくがアルファベットを知らないとからかうんだ。

ほかの子たちは、もう塾で、みな習ったのに、ぼくも塾に行きたい！」

「ごめんね。ヨシキ。うちの状態で塾にやることはできないの」

「もう、ママもきらいだし、友だちもきらいだい！」

怒ったヨシキは、ドアをぱっと開けて家に入った。あとについて入ってきた

ママは、台所に入った。そして、冷蔵庫から熟した柿を二個出して

怒ったヨシキにこっそり渡しながら話した。

「ずっと、そんなふうに怒って、きらいだと言って

いたら、それは人を殺すことと同じよ」

「だれがそんなことを言ったの？」

「イエス様がそう言われたの」

ヨシキは、口をぐっととじて、ママを見ることもしなかった。

「でも、イエス様はそんなヨシキも愛してくださっているのよ」

「そんなことはない！ぼくなんで愛していない！」

「いいえ。神様は、あなたを愛してくださっています。それを英語で
なんというか知っているでしょう」

「知らない！」

「ジーザス ラブズ ユウ (Jesus loves you)」

ヨシキは、きょとんとした顔でママを見つめました。

「こういうときは、イエス、ジーザス ラブズ ミー (Yes, Jesus loves me)
と言うのよ」

ママはにっこり笑いながら言いました。

「ほかの子たちは、英語をアルファベットから

習うけれど、ヨシキは、イエス様があなたを愛されるという

文章から習ったから、もっと先を行っているのよ。

そうでしょう。ジーザス ラブズ ユウ」

「うん。イエス、ジーザス ラブズ ミー」

ヨシキは、柿を一口、かぶりました。

定刻祈りの点検：

昼 12 時

教会のために祈りましょう。

夜 9 時

RUTCのために祈りましょう

